

富士見市立本郷中学校だより

学校教育目標



群 青

よく考え、学び、求める生徒
 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
 心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒

「ひたむきに伸びようとする生徒たちをサポートする学校」

No.5

グッドルーザーになる。



この夏はオリンピックに高校野球の甲子園と、手に汗握りながらスポーツ観戦に熱中した。経験どころか、競技としてもまったく知らなかったようなスポーツもおもしろく、あらためてスポーツの素晴らしさを感じる夏だった。体も重くなり、膝も悲鳴を上げる今となっては、スポーツは完全に観るものとなってしまったが、トップアスリートたちのスーパープレイや汗と涙を流すシーンはどのスポーツでも観る者の心を震わせる。

柔道やレスリングでは日本人選手の力強さを感じ、強豪フランス相手にあと一步で敗れた男子バスケットボールの試合も感動的だった。東京オリンピックから導入されたスケートボードは堀米雄斗選手の奇跡の逆転2連覇や、14歳の吉沢恋選手が金メダルを獲るなど盛り上がった。女子パークでは、2連覇を狙った四十住さくら選手が予選上位8人による決勝進出を逃したが、その予選中のインタビューでの言葉に考えさせられた。

予選1回目のランで高得点を叩き出したものの、その後に他選手が記録を上回っていく。自身の最終ランを終えて暫定4位。他の選手の結果を待つ中で発した「めっちゃ2連覇しようと思ってきたので、1・2・3の中にいたかたんですけど……。最後まであきらめずに、でも他人の失敗は祈りたくないの」と複雑な心境を。さらに「でも決勝には行きたいので。ちょっと変な気持ちになっちゃうんですけど、行けるように祈ります」と。

スポーツが競技ではなく「遊び」だった子どもの頃は、国も、敵・味方も関係なく、純粋にスーパープレイに興奮し、「すごいなあ」「かっこいいなあ」だけだった。大人になるにつれ、サッカーのPKも、バスケットボールのフリースローも、相手チームの選手の失敗を祈る自分がいる。いつからそんな「他人の失敗を祈る」大人になってしまったのか。

「他人の失敗を祈りたくない」という娘のような歳の若い選手に後ろ指を指され、今夜からは純粋にプレイを観よう、敵・味方関係なく応援しようと思い直した。

テレビ中継のアナウンサーや解説者も日本人選手の応援団になることが多い。ただし、オリンピックのゴルフ中継は違った。日本人選手が上位を争っていても、画面に映るすべての選手に、「ナイスショットです」と賛辞を送る。日本人選手の応援に終始することなく、純粋に競技の素晴らしさを伝えてくれる穏やかな実況・解説が心地良い。

スポーツの世界では「グッドルーザー」になることが美德とされる。潔く自らの力不足を認め、勝者に惜しめない称賛を贈る。コロナ禍の甲子園で「青春って密なので……」で有名になった仙台育英高校の須江航監督も、「人生は敗者復活戦」を口癖にし、負けた時こそ「敗者復活の第一歩だから、今日という日を無駄にしない。今日が大事」と訴える。

スポーツでも、人生のいかなる場面においても、思い通りにならず、うまくいかないことだらけ。その度に不貞腐れていても、相手に文句を言っている、自分の力ではどうにもならない。そんなことに打ちひしがれていても前には進めない。負けた時こそが、その人の本当の強さが問われ、次のステージの飛躍につながる大切な瞬間。

他人の失敗を祈るのではなく、グッドルーザーになって前に進もう。（校長 廣井賢司）

行事予定

日	曜	学校行事
21	土	新人入間東部大会(3)
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	新人入間東部大会(予備日1) 下校時刻変更17:15
25	水	水曜日課 硬式テニス地区大会 新人入間東部大会(予備日2)
26	木	
27	金	特別日課 生徒会役員選挙立合演説会(5. 6)
28	土	入間地区大会
29	日	入間地区大会(予備日1)
30	月	中間テスト前諸活動停止期間～10/8(火)
10/1	火	アルミ缶回収日 入間地区代表決定戦(予備日)
2	水	水曜日課 学校朝会
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	中間テスト(1)
8	火	中間テスト(2)
9	水	生徒朝会(新生徒会役員認証式)
10	木	3年東部班統一テスト②
11	金	陸上新人県民スポーツ大会(1) 火曜時間割
12	土	陸上新人県民スポーツ大会(2)
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	月曜時間割
16	水	水曜日課 専門委員会下校時刻変更16:45 富士見市・ふじみ野市駅伝大会
17	木	
18	金	

コスモス街道ボランティア



7月28日、8月4日、18日(いずれも日曜日)、富士見江川と新河岸川のサイクリングコース沿いの除草作業を中心にボランティア活動を行いました。本校からは3日間で延べ57人参加し、心地よい汗を流しました。秋には土手沿いに色鮮やかなコスモスが咲くのが今から楽しみです。

全国中学校水泳競技大会出場 8月17日～19日

石川県金沢市で行われた水泳の全国大会に本校生徒が参加し、100M バタフライ、200M バタフライで出場しました。おめでとうございます。

いじめのない学校づくり子ども会議 7月22日(月)



7月22日(月)に本校でいじめのない学校づくり子ども会議が開催され、本校生徒が参加しました。会議では、水谷中、みずほ台小、水谷小の児童生徒となぜいじめが起きるのか、どうしたらいじめが無くなるのか等、真剣に討論を行いました。

今後は会議で討論した内容をもとに、各学校ごとにいじめのない学校づくりに取り組みます。

第65回埼玉県吹奏楽コンクール出場 8月10日(土)

8月10日(土)さいたま市文化センターで第65回埼玉県吹奏楽コンクールが開催され、本校の吹奏楽部が参加し、銀賞を受賞しました。おめでとうございます。コンクールでは、「環海(かんかい)の群像」を演奏し、会場にきた人たちを魅了しました。

救命講習

8月21日(水)



入間東部地区事務組合消防本部の方をお招きし、本郷中学校の教職員が救命講習

を受講しました。救急車の現場到着までの応急手当と救命処置が生存率を左右することと、真剣に取り組みました。講習終了後、消防本部の方より普通救命講習修了証が手交されました。

英語スピーチコンテスト

9月3日(火)



本校生徒5名が参加しました。どの生徒も堂々とした態度で、立派なスピーチを行うことができました。3名は二市一町のスピーチコンテストへの参加も決めました。